

その他の事業のご報告

営農指導事業

営農指導事業は、ＪＡ事業の原点とも言える最も重要な事業です。

その内容は、「営農及び技術改善指導」「生活改善事業」「教育情報活動」「組織農政活動」の大きく４つの柱からなり、この活動費用の一部は正組合員からの賦課金でまかなわれるほかは、全てＪＡの収益によってまかなわれます。

営農指導事業活動は、直接的にはＪＡに経済的利益をもたらさないが、他の主要事業と結合して強化推進の役割を担うと共に、組合員の協同活動の促進に極めて重要な役割を果たしています。

販売事業

販売事業は、もっぱら組合員のための事業であり、組合員の生産した農畜産物の集出荷、選別、販売などを担い、組合員がより高い農業所得を確保することを目的として、ＪＡが組合員に代わり一元集荷を行い、共同で多元販売を行う事業です。

営農指導部門と連携して、計画生産・計画出荷の体制を確立し、固定需要の維持確保に努めると共に、市場の開拓拡大にも努めて安定した農業経営の維持に貢献しています。

また、消費地の需要や要望を生産者に伝達して需要に応じた生産を誘導するほか、生産履歴の記帳などにより、安全でかつ安心な農畜産物を供給して消費地の信頼獲得に努めております。

農業倉庫事業

倉庫事業は「農業倉庫業法」に基づき行政庁の認可を受けて実施している事業です。この事業は一般的には販売事業と表裏一体の事業であり、生産者が生産した「お米」を保管管理するほか、「小麦」「大豆」等の保管管理をしております。

購買事業

購買事業は、肥料や農薬などの生産資材の供給、農業機械や車両の供給と修理、灯油や軽油などの燃料油脂の供給、Ａコープとして親しまれる生活物資の供給が主なる事業です。

「購買事業」の原点は単に「物を売る」ことではなく、組合員の必要な物資を共同で購入して安定的に供給することにあり、コスト低減や仕入条件の優位性確保の面から「予約購買」「とりまとめ購買」などを積極的に実施しており、これはＪＡ購買事業の特色でもあります。

生産施設事業

生産者が生産から出荷まで全てを個人完結型で行うのではなく、人手を要する作業や規格品質の統一化や均質化により商品としての付加価値が高まるものについて、ＪＡの協同利用施設を利用して集荷・選別調整を行い販売しております。

ＪＡ北いぶきの生産施設は、お米のカントリー施設・玄米ばら集出荷施設、メロン・ブロッコリー・みつばなどの共同選果施設、小麦・豆類・そばの乾燥調整施設、籾殻などの加工処理施設があります。

金融商品の勧誘方針

当組合は、金融商品販売法の趣旨に則り、貯金・定期積金、共済その他の金融商品の販売等の勧誘に当たっては、次の事項を厳守し組合員・利用者の皆様の立場に立った勧誘に努めると共に、より一層の信頼をいただけるよう努めてまいります。

- 1．組合員・利用者の皆様の商品利用目的ならびに知識、経験、財産の状況および意向を考慮のうえ、適切な金融商品の勧誘と情報の提供を行います。
- 2．組合員・利用者の皆様に対し、商品内容や当該商品のリスク内容など重要な事項を十分に理解していただくよう努めます。
- 3．不確実な事項について断定的な判断を示したり、事実でない情報を提供するなど、組合員・利用者の皆様の誤解を招くような説明は行いません。
- 4．お約束のある場合を除き、組合員・利用者の皆様にとって不都合と思われる時間帯での訪問・電話による勧誘は行いません。
- 5．組合員・利用者の皆様に対し適切な勧誘が行えるよう、役職員の研修の充実に努めます。

信用・共済事業のご報告

信用事業

信用事業は、貯金・貸出・為替など、いわゆる金融業務といわれる内容の業務を行っており、この信用事業は、農協・信連・農林中央金庫という三段階の組織が有機的に結び付き、農協系統金融として大きな力を発揮しています。

貯金業務

組合員はもちろん、地域住民の皆様からの貯金をお預かりしています。

普通貯金、定期貯金、定期積金、総合口座などの各種貯金を、目的、期間、金額にあわせてご利用いただけます。

種 類	特 徴	お預入期間	お預入金額	
普通貯金	お手軽に出し入れができ、給与や年金の自動受取、公共料金やクレジット代金の自動支払い、キャッシュカードなどの便利なサービスがご利用いただけます。	出し入れ自由	1円以上	
総合口座	普通貯金の機能に加えて、一つの通帳に定期貯金がセットできるのが特色で、定期貯金の残高の90%以内(最高300万円)で自動融資を受けられます。	出し入れ自由	1円以上	
スーパー貯蓄貯金	普通貯金や総合口座のように自動受取・自動支払の機能はありませんが、普通貯金より有利な金利を設定しております。また、キャッシュカードもご利用いただけます。	出し入れ自由	1円以上	
定期貯金	スーパー定期貯金	短期の運用から長期の運用まで目的に応じて自由に選べます。預入時の利率が満期日まで変わらない確定利回りで預入期間3年以上なら半年複利の運用でさらにお得です。300万円以上になると金利がさらに一段アップします。	1年以上 5年以内	1円以上
	期日指定定期貯金	1年複利で高利回り、据置期間経過後はご指定の日にお引き出しになれます。また、元金の一部お引き出しもできます。	最長3年 (据置期間1年)	1円以上
	大口定期貯金	大口資金の高利回り運用に最適です。	1ヶ月以上 5年以内	1千万円以上
	変動金利定期貯金	お預入日から半年毎に、市場金利の動向に合わせて金利が変動する定期貯金で、金利環境の変化に素早く対応することができます。	1年以上 3年以内	1円以上
財形貯金	一般財形貯金	給料からの天引きで、お勤めの方々の財産づくりには最適な貯金です。	3年以上	1千万円以上
	財形年金貯金	給料からの天引きで、ご自分の生活設計に合わせて、年金タイプでお受取になる有利な積立貯金です。最大のメリットは550万円まで(財形貯蓄と合算)退職後においても非課税の特典が受けられるところです。	積立期間 5年以上 据置期間 6ヶ月以上 受取期間 5年以上 20年以内	1千万円以上
	財形住宅貯金	給料からの天引きで、マイホームのご計画に合わせ、住宅取得資金づくりに最適な積立貯金です。最大のメリットは550万円まで(財形貯蓄と合算)退職後においても非課税の特典が受けられるところです。	5年以上	1千万円以上
定期積金	目的に合わせて、毎月の預入指定日に積み立てる貯金です。積立期間は6ヶ月以上5年以内の間で自由に選べますから、プランにそって無理なく目標が達成できます。	6ヶ月以上 5年以内	1千万円以上	
譲渡性貯金	大口の余裕資金の短期運用に有利です。満期日前の譲渡も可能です。	2週間以上 2年以内	5千万円以上	

* 商品・サービスご利用にあたっての留意事項

貯金商品やサービスにつきましては、ご契約上の規定・金利変動ルールなど、それぞれの商品やサービスの特色を店頭でお尋ねいただくなど、よくご確認のうえご利用下さい。

貸出業務

組合員への貸出をはじめ、地域住民の皆様の暮らしや、農業者の皆様の事業に必要な資金を貸し出しています。

また、地域公共団体、農業関連産業などへもご貸出し、地域経済の資質向上と発展に貢献しています。

さらに、住宅金融公庫、国民生活金融公庫、農林漁業金融公庫等の融資の申し込みのお取り次ぎもいたしております。

種 類	特 徴	ご融資額	ご返済期間
クローバーローン	結婚費用、旅行費用、医療・出産費用、耐久消費財の購入費など生活資金全般 ただし、資金使途が確認できるものに限りです。	300万円まで	7年以内
住 宅 ロ ー ン	住宅の新築、高級、リフォーム、土地の購入資金	最高5千万円まで	35年以内 (固定金利は25年以内)
教 育 ロ ー ン	ご子弟の入学金、授業料など学費の支払い、下宿代など	500万円まで	13年以内 (在学期間は元金据置も可)
マイカーローン	乗用車・オートバイの購入資金	500万円まで	7年以内
カ ー ド ロ ー ン	使途自由。極度額の範囲で何度でもご利用できます。	最高300万円まで	1年(自動更新)

為替業務

全国のJA、県信連、農林中央金庫の店舗をはじめ、全国の銀行や信用金庫などの各店舗と為替網で結び、北いぶき農業協同組合の窓口を通して全国のどこの金融機関へでも送金や小切手等の取り立てが安全・確実・迅速にできる内国為替をお取り扱いしています。

内 国 為 替 の 取 扱 手 数 料				
種 類	農協系統他店宛	農協系統以外の金融機関		
		文書扱い	電信扱い	
振 込 手 数 料	3万円未満	210円/1件	420円/1件	525円/1件
	3万円以上	420円/1件	630円/1件	735円/1件
代 金 取 立	普通扱い	630円/1通	630円/1通	
	至急扱い	円/1通	円/1通	

上記手数料には、消費税(5%)が含まれております。

その他のサービス

北いぶき農業協同組合では、コンピューター・オンラインシステムを利用して、各種自動受け取り、各種自動支払いや事業主の皆様のための給与振り込みサービス、口座振替サービスなどをお取り扱いしています。

全国のＪＡでの貯金の出し入れや、銀行・信用金庫等でも現金の引き出しができるキャッシュサービスなど、いろいろなサービスに努めています。

これらの業務のほか、組合員の債務保証、金融機関等の業務代理、資産運用・年金などの相談業務、営農や生活に役立つ情報の提供なども行っていますが、ＪＡの信用事業は、一般の銀行などとは異なる次のような特徴があります。

組合員が貯金者であり、借入者である、組合員相互の金融であること。

貯金は生産物の販売代金が主であり、貸付は営農・生活指導と結び付いた指導金融であること。

ＪＡの預金を有効に使うため、「ＪＡ～北海道信連～農林中央金庫」と、お互いに資金融通しあう系統金融であること。

地域住民に密着した地域金融であること。

国や道の農業政策（制度資金）などと密着な関係を持った金融であること。

種 類	特 徴
キャッシュカード	このカード1枚で、全国のＪＡバンクの各店のＡＴＭでお金の出し入れができるほか、他の金融機関のＡＴＭでも払い出しができます。
振 込 ・ 取 立	当ＪＡに口座をお持ちのお客様への振り込み、ＪＡはもとより各金融機関の指定口座へも電信為替等により即日振り込みできるほか、お客様の委託により手形や小切手の取り立てを行い、支払いを受けることができます。
年 金 自 動 受 取	一度お手続きをすると、支給日に支払通知書や年金証書を持参することなく、自動的に確実に受け取ることができます。
給 与 振 込	現金の受け渡しがないので、紛失の心配がなく、出張中や休暇中にも給与を確実に受け取れます。
公共料金自動支払	ご利用の通帳と印鑑をお持ちになり、窓口でお申し込みいただくと、引き落とし日に自動的に納付が完了しますので、納め忘れがなく安心です。
Ｊ Ａ カ ー ド	ショッピングやレジャーなど、お客様のサインひとつで、国内はもちろん海外の加盟店でもご利用になれる便利なカードです。

共済事業

病気や火災・事故などの災害にあたって、組合員がともに保障しあい、農業経営や生活の安定をはかるための事業が、共済事業です。

また、JA共済は、いざという時に多額の共済金を支払うことができるよう、JAは共済連に再共済し、共済連は全共済に再々共済することによって、共済金の支払いをより一層確実なものにしています。

		種 類	特 徴
共済期間が5年以上の契約	長期共済	終身共済	災害や入院への備えも万全な、生涯保障プラン。 多彩な特約で、保障内容を自由設計できるのが特徴です。
		養老生命共済	万一のときの保障と、将来の資金づくりを両立させた共済。長期の入院や後遺障害も、手厚く保障します。
		予定利率変動型年金共済	豊かな老後のための年金共済。 予定利率変動型ですので、年金額の増額も期待できます。
	短期共済	医療共済	入院・手術・死亡を一生涯にわたって保障いたします。 通院保障の選択が可能ですので、ニーズにあわせた加入ができます。
		子ども共済	お子様の成長と共に大きくなる保障の安心タイプ。 学資金や結婚資金がタイムリーに受け取れる保障万全のプランです。
		建物更生共済	火災だけでなく、地震などの自然災害からもお住まいを守ります。 満期共済金のお受け取りにより、新築・改装や買い替えの資金づくりも行えます。
共済期間5年以内の契約	短期共済	自動車共済	車両・対人賠償・対物賠償・搭乗者傷害など、安い掛け金でワイドに保障します。
		自賠償共済	自賠法で、全ての自動車に加入が義務づけられています。 ハンドルを握る人には欠かせないクルマの共済です。
		傷害共済	日常の様々なアクシデント（死亡・後遺障害・入院・通院）を保障します。 あなたやご家族の「もしも」に備えた安心ワイドな保障プランです。
		火災共済	家族の大切な住まいや家財はかけがえのない財産。 家族の明日をしっかりと守ります。



沿 革



平成15年2月1日をもって合併し「北いぶき農業協同組合」を設立した旧JAの沿革は次のとおりです。

妹背牛町農業協同組合

大正2年の大凶作を契機に産業組合設立の機運が高まり、大正5年11月に「大鳳信用組合」が、次いで大正8年6月に「無限責任妹背牛信用購買販売組合」が設立された。

その後、両組合は健全な発展を続け、昭和16年4月に合併し、村一円を区域とした「妹背牛産業組合」が発足した。

昭和19年1月には農業団体の統合により産業組合と農会が解散し、「妹背牛農業会」が生まれ、昭和23年4月に「妹背牛村農業協同組合」が発足、昭和27年2月より「妹背牛町農業協同組合」と改称しその後の歴史を築いた。

平成15年2月1日に「北いぶき農業協同組合」として新たな船出をするまで、共存同栄の旗のもと、幾多の試練を乗り越え組合員と一体となって経営安定の基盤を築き上げた実績が認められ、昭和28年および昭和33年にJAとして最高の荣誉である全国農業協同組合中央会の「全国表彰」「特別表彰」を受賞した。

秩父別農業協同組合

明治44年8月、北空知管内のトップを切って産業組合法に基づく「無限責任秩父別信用販売購買組合」を設立し、その後「秩父別村農業会」を経て、昭和23年3月「秩父別農業協同組合」に改組し合併に至るまでの歴史を築いた。

産業組合以来90余年に及ぶ歴史は、農民の自主自立を目指した試練と苦難の道のりではあったが、組合員と役職員が一体となった努力で安定した経営の基盤拡充が図られ、昭和39年に全国農業協同組合中央会（全中）の「全国表彰」、昭和40年に朝日新聞社の「朝日農業賞」、更に昭和45年に全国のJAで最高の荣誉である全中「特別表彰」受賞の荣誉に輝き、組合運動の足跡が讃えられた。

沼田町農業協同組合

大正2年の大凶作を契機に組合設立の機運が高まり、大正7年に産業組合が創立され、昭和19年に「沼田村農業会」が設立されたが、戦後の農民解放指令により昭和23年に解散し、同年農業協同組合法の制定に伴い「沼田町農業協同組合」を設立し合併までの歴史を築いた。

協同組合の歴史では、幾度かの大凶作や災害に見舞われる試練を受けたが、組合員と役職員一体となった努力でその困難を乗り越え、その努力が全国的に認められ、昭和17年、昭和38年にはJAで最高の荣誉である全国農業協同組合中央会「全国表彰」「特別表彰」受賞の栄に輝いた。